

事業番号	15 09 05	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野県版「運動プログラム」普及事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-3 教育再生、4-1-2 健康づくり・医療充実			課・局・室	スポーツ課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実			E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成			実施期間	H21 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	1-4 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造 5-4 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり					
	施策展開	2-(3) 知の集積と教育の充実 イ 未来の信州を担う子どもたちの教育の充実 (7) 多様な教育の推進					

1 事業の概要

目指す姿	スポーツに親しむ機会を提供し、運動・スポーツの習慣化のきっかけを作ることにより、児童生徒の体力・運動能力を目指す。 成果目標：全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点(全国順位) 49.1点(31位) [H22] → 51.0点(10位台) [H29]																																						
現状(予算編成時)	○長野県の児童・生徒の体力は、向上傾向(全国49.9点・本県50.1点)にあるものの、県総合5か年計画達成目標の目安値を下回っており、引き続き体力向上に向けた全県的な取り組みが課題となっている。 ○運動をする子としない子の二極化傾向については、歯止めがかかりつつあるが、依然として1週間の運動実施時間が全国平均より少ない(全国629分・本県549分)。学校における運動量の確保、保護者をはじめ地域へ啓発が必要である。																																						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】 県版の「運動プログラム」を広く県内に普及するため、市町村教育委員会及び各校との連携を図りながら県が主体的に取り組む必要がある。				県民との協働による実施：実施は困難																																
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)																																						
	○「体力合計点」について、50.6点以上とする。(H29までに51点台とするために、基準年(H24)から概ね0.3ポイントずつ毎年上昇) ○「体力合計点」の全国順位を、10位台とする。(H29には10位台とすることを目標しているが、H27に19位となったため、H28も10位台を目標とする)																																						
	② 事業内容 (単位:千円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H28事業実績</th> <th colspan="2">H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒の体力向上支援事業</td> <td>直接</td> <td>幼児期からの運動習慣形成について全県に発信するために、体力向上支援委員会を年2回開催し、児童生徒の体力テストの分析をもとに、より効果的な事業内容や指導法の検討を行った。</td> <td>946</td> <td>813</td> <td>1,095</td> </tr> <tr> <td>キッズ運動遊びどこでもゼミナール</td> <td>直接</td> <td>長野県版運動プログラムの運動遊びの普及を図るため、幼保小の教職員、地域指導者、保護者を対象にした出前ゼミナールに、園児・児童333名が参加した。</td> <td>223</td> <td>223</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>「体づくり運動」実技講習会事業</td> <td>直接</td> <td>小中学校の課題の体力要素や運動能力の向上を目指し、専門的に研究を行っている講師を学校に派遣し、授業での活用や一校一運動の充実を図った。 ・小学校実技講習会に児童728名が参加した。 ・中学校実技講習会に317名が参加した。</td> <td>376</td> <td>167</td> <td>370</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>1,545</td> <td>1,203</td> <td>1,693</td> </tr> </tbody> </table>							項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29	(当初)	(決算)	(当初)	児童生徒の体力向上支援事業	直接	幼児期からの運動習慣形成について全県に発信するために、体力向上支援委員会を年2回開催し、児童生徒の体力テストの分析をもとに、より効果的な事業内容や指導法の検討を行った。	946	813	1,095	キッズ運動遊びどこでもゼミナール	直接	長野県版運動プログラムの運動遊びの普及を図るため、幼保小の教職員、地域指導者、保護者を対象にした出前ゼミナールに、園児・児童333名が参加した。	223	223	228	「体づくり運動」実技講習会事業	直接	小中学校の課題の体力要素や運動能力の向上を目指し、専門的に研究を行っている講師を学校に派遣し、授業での活用や一校一運動の充実を図った。 ・小学校実技講習会に児童728名が参加した。 ・中学校実技講習会に317名が参加した。	376	167	370	合計			1,545	1,203
項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29																																		
			(当初)	(決算)	(当初)																																		
児童生徒の体力向上支援事業	直接	幼児期からの運動習慣形成について全県に発信するために、体力向上支援委員会を年2回開催し、児童生徒の体力テストの分析をもとに、より効果的な事業内容や指導法の検討を行った。	946	813	1,095																																		
キッズ運動遊びどこでもゼミナール	直接	長野県版運動プログラムの運動遊びの普及を図るため、幼保小の教職員、地域指導者、保護者を対象にした出前ゼミナールに、園児・児童333名が参加した。	223	223	228																																		
「体づくり運動」実技講習会事業	直接	小中学校の課題の体力要素や運動能力の向上を目指し、専門的に研究を行っている講師を学校に派遣し、授業での活用や一校一運動の充実を図った。 ・小学校実技講習会に児童728名が参加した。 ・中学校実技講習会に317名が参加した。	376	167	370																																		
合計			1,545	1,203	1,693																																		
事業	区	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況																																	
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標																											
		当初予算	806	1,545	1,693				目標	成果	達成状況																												
		補正予算				体力合計点	49.4点	50.1点	50.6点	50.1点	未達成	51点台																											
		合計(A)	806	1,545	1,693				体力合計点の全国順位	27位	19位		10位台	23位	未達成	10位台																							
	コスト	一般財源	806	599	598																																		
		県債																																					
		国庫支出金		946	1,095																																		
		その他	0	0	0																																		
	ト	決算額(B)	655	1,203																																			
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00																																			
	概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914																																			
	概算事業費(B(A)+C)	8,931	9,117	9,607																																			
目標に対する成果の状況	体力合計点は、昨年に引き続き目標値に僅かに及ばなかった。また、全国順位は、昨年の19位から順位を下げた。これは、小学校男子、中学校男子では高得点者の割合が全国平均よりも多いものの、中学校女子では低得点者の割合が全国平均よりも多いことによると考えられる。さらに、全国平均が201点台と大きく向上したのに対して、本県は現状維持であったため、23位という結果となった。																																						

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 就学前の運動習慣形成と、運動に対する有能感の獲得が、学童期の運動遊びの発展につながっていくと考えられている。それらを踏まえた本事業は、現場の教員にとっても大きな意識付けとなっており、今後も継続的に推進するとともに、未実施の地域を中心に更なる普及に向け一層のPRを図る必要がある。
--------------------	--